



瀬戸内三原
築城450年事業

平成28年度 三原市事業レビュー

三原市公式マスコットキャラクター



日時 平成28年10月15日(土) 開会式 9:00～

点検作業 9:30～16:30 (受付 8:45～)

10月16日(日) 点検作業 9:30～16:30 (受付 9:15～)

場所 三原市城町庁舎(ペアシティ三原西館) 2階 大会議室
三原市城町一丁目2番1号

～ 傍聴者のみなさまへ ～

本日は、お越しいただきありがとうございます。

- 傍聴は、お静かにお願いします。
- 会場内での携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。
- 会場への出入り、席の移動は自由ですが、進行の妨げにならないようにお願いします。
- 傍聴のみなさまからの御意見、御質問は一切受け付けませんので御了承ください。
- 点検作業中に批評を述べたり、発言や拍手その他の方法で、公然と賛成や反対など意向を表明することは御遠慮ください。
- 会場内に、傍聴者の意思を表明するもの(ノボリ、旗、プラカード、横断幕など)は持ち込まないでください。
- 会場内での食事、喫煙は御遠慮ください。施設内は禁煙となっておりますので、指定された場所以外での喫煙は御遠慮ください。
- 会場内に報道関係者が取材に入ることがありますので御了承ください。
- 会場の模様をインターネット中継しますので、予め御了承ください。また、撮影した映像は、後日、市ホームページで視聴できるようにする予定です。
- 録音、写真撮影、録画については、点検作業、インターネット中継及び他の傍聴者の方の支障にならない範囲で行ってください。
- その他、進行を妨げる行為はしないでください。
- 施設内での事故や盗難については、一切の責任を負いません。

※これらの事項を守っていただけない場合やコーディネーターや事務局の指示に従っていただけない場合は、退場していただくことがあります。

※今回の判定結果が、市の最終判断となるものではありません。

判定結果や議論の内容を踏まえ、事業の見直しの参考にします。

★今後の業務運営の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力ください。

目 次

実施概要 1

タイムスケジュール 3

コーディネーター・評価者名簿 4

事業シートの見方 5

●実施概要

1 目的

施策の成果を効果的に向上させるため、事務事業について、その必要性や上位目的である施策に適切に貢献しているか、コストは適正か等、外部の視点で点検するとともに、施策そのものの方向性を議論し、施策改善につなげる。

2 点検対象

三原市長期総合計画基本計画『みはら元気創造プラン』に掲げる施策の中から、平成 28 年度第 1 回三原市まちづくり戦略検討会議において、4 施策を選定しました。

さらに、4 施策の中で、担当部署において課題がある事業を 2 事業程度抽出し、点検対象としました。

※まちづくり戦略検討会議とは、市に政策提言を行うために、外部の有識者で組織された附属機関です。

3 実施体制

コーディネーター	1 名	・議論の進行役を務めます。
評価者	4 名	・説明者への質問や議論を行います。 (内訳) 三原市まちづくり戦略検討会議委員 2 名 一般社団法人構想日本派遣 2 名
市民判定者	複数名	・評価者と市職員の議論を聞いて、判定します。 ・1 テーマ 10~20 名程度が参加。
説明者	複数名	・事業の説明を行う市職員

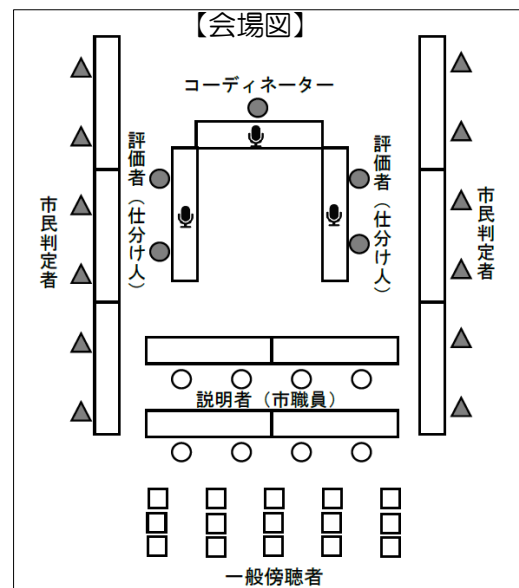
4 市民判定者

(1) 市民判定者の役割

- ① 評価者の判定とともに、市民視点での判定も実施し、評価に対する市民の意見を確認する。
- ② 議論全体に対する感想や、評価者の点検結果に対し、コメントを求める。

(2) 選出方法

無作為抽出した 18 歳以上の市民 2,000 名及び昨年度に市民判定者を経験した者から希望者を募り、30 名を選定。



5 点検の流れ

① 施策の概要説明



② 説明者による事業シート及び補足資料の説明



③ 評価者による質疑応答



④ 評価者，市民判定者の判定



⑤ 判定結果の集計，発表



⑥ 市民判定者のコメント



⑦ 事業点検終了後，施策全体の改善提案について，フリーディスカッション形式で議論。

※事業ごとに

②～⑥を繰り返し

6 判定区分

評価者及び市民判定者は，各事業の評価を次の区分により行います。

区 分	内 容
(1) 不要・凍結	・事業そのものが不必要。(事業の廃止) ・ゼロベースで見直し(事業の一時凍結)
(2) 国・県・広域	・事業は必要だと思うが，市がやるべきでない。 ・国，県，広域で実施した方が効果的
(3) 三原市(要改善)	・市が実施すべきだが，改善が必要である。
(4) 三原市(現行通り・拡充)	・引き続き，市が実施すべき。 ・もっと重点的に取り組む必要がある。

7 情報発信

点検の状況は，一般公開するとともに，インターネットで生中継を行う。

8 評価結果の活用等

(1) 当日の点検作業における指摘事項は，可能なものから事務改善や予算に反映するとともに，事後の反映状況の確認を行なう。

(2) 今回の点検対象とならなかった施策は，当日の議論をもとに，共通する課題の視点から，各担当課において自己点検し，事務改善に活かすものとする(水平展開)。

(3) 点検結果及び指摘事項の反映や活用方針は，適宜，公表し，情報発信に努める。

●タイムスケジュール

1日目：10月15日（土）

時間	内容	担当課
9:00 ～ 9:15	開会式	
9:30 ～ 12:30	防災（災害対応力の強化） ①－1 防災対策事業 ①－2 地域防災拠点整備事業 ② 自主防災組織の育成・支援事業	危機管理課
12:30 ～ 13:30	（昼食休憩）	
13:30 ～ 16:30	男女共同参画（男女共同参画社会の形成） ③ 男女共同参画啓発事業 ④ 女性リーダー育成事業	人権推進課
16:30	（1日目終了）	

2日目：10月16日（日）

時間	内容	担当課
9:30 ～ 12:30	住宅政策（快適・安全な住まいづくり） ⑤市営住宅維持管理事業 ⑥空き家対策事業	建築課 建築指導課
12:30 ～ 13:30	（昼食休憩）	
13:30 ～ 16:30	移住・定住（移住・定住の促進） ⑦－1 定住支援体制の整備 ⑦－2 空き家活用検討事業 ⑧ 婚活プロジェクト実行委員会補助	地域調整課
16:30	（終了）	

※スケジュールの時間は議事の進行状況により前後する場合があります。

● コーディネーター・評価者名簿

1日目：平成28年10月15日（土）

コーディネーター	
伊藤 伸 氏	(一社)構想日本 総括ディレクター
評価者	
佐木 学 氏	まちづくり戦略検討会議委員 (株)日産サティオ福山元執行役員 小坂防災会会長
岡野 帝男 氏	まちづくり戦略検討会議委員 広島銀行三原支店長
村上 敏也 氏	(一社)構想日本派遣 県立広島大学大学院 経営管理研究科准教授
斉藤 麻紀子 氏	(一社)構想日本派遣 (株)朝日新聞出版

2日目：平成28年10月16日（日）

コーディネーター	
伊藤 伸 氏	(一社)構想日本 総括ディレクター
評価者	
前山 総一郎 氏	まちづくり戦略検討会議座長 福山市立大学大学院 都市経営学研究科教授
佐藤 俊雄 氏	まちづくり戦略検討会議副座長 広島市立大学特任教授
村上 敏也 氏	(一社)構想日本派遣 県立広島大学大学院 経営管理研究科准教授
河野 麻衣子 氏	(一社)構想日本派遣 (株)日立コンサルティング

●事業シートの見方（表）

事業番号●

平成28年度

事業シート（概要説明書）					
予算事業名	★対象事業名です。		事業開始年度	★事業の開始年度です	
上位施策事業名	★三原市長期総合計画基本計画の施策名を記載		担当局・部名	★対象事業を担当する部署名を記載	
根拠法令等	★事業実施の根拠となる法令、条例、規則等を記載		担当課・係名		
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者		
実施の背景	★この事業がなぜ必要なのか、その理由、背景を記載。				
目的 (何をどうしたいのか)	★この事業は何のためにやっているのか、その目的（ねらい）を記載。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	★この事業が対象にしている人、団体、ものなどを記載。		対象者数（全住民に対する割合） 人（ % ）	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者： <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		★この事業について、該当する項目にチェックをつけています。	
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標	
			千円		
			千円		
	事業内容	★この事業において、平成27年度に実施した内容とそれに係る事業費を記載しています。 ★どのような方法で事業を実施しているか、どれだけ事業費がかかっているかを記載しています。 ★活動指標は、どれだけ活動を行ったのかを表すものです。			
関連事業 (同一目的事業等)	★この事業と関連する事業がある場合に記載しています。				
コスト		28年度（予算）	27年度（決算見込み）	26年度（決算）	25年度（決算）
	事業費合計	★この事業にかかった事業費を年度別に記載しています。（ただし28年度は予算額です。）			
	事業費内訳 (平成27年度分)	★この事業の平成27年度にかかった事業費の内訳を記載しています。			
	担当正職員 臨時職員等 人件費合計	★この事業に携わった職員の従事職員人数に、職員の平均人件費を乗じた額を記載しています。 ★「人件費合計」：この事業に携わった市職員と臨時職員等に支出した金額の合計額を記載しています。 ★「総事業費」：この事業に要した事業費の合計と人件費の合計を総事業費として記載しています。			
	総事業費				
財源 内訳	国県支出金	★国・県からの負担金・補助金（交付金）・委託金を計上しています。			
		国県支出金の内容	★国・県からの負担金・補助金・委託金の名称を記載してください。		
	地方債	★当市の借金に相当するものです。			
	その他特財	★受益者負担分（使用料や手数料等）や基金（市の貯金に相当）からの繰入れなどです。			
	一般財源	★市が自らの裁量で使用できる財源で、市税、地方譲与税、地方交付税などです。			
財源合計	★この事業に必要な財源内訳の合計額です。				

●事業シートの見方（裏）

事業番号●

平成28年度

事業シート（概要説明書）							
予算事業名		★対象事業名です。			事業開始年度		★事業の開始年度です
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度	
				/	/	/	
		★活動実績は、この事業が「何をしたか」を数値化し、年度別に記載したものです。		/	/	/	
				/	/	/	
	単位当たりコスト	★活動実績が、どのくらいの経費で行われたのか、その単価を年度別に記載しています。					
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	★成果指標を設定した際の考え方を記載しています。 ★この事業を実施することで、目指す成果（目指している状態、得ようとしている成果）を記載しています。					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度	
		★事業の目標値、目的がどの程度達成されたのか、市が活動した結果、対象者にもたらされた効果、成果を数値化したものを年度別に記載しています。		/	/	/	
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	★事業の目的に対し、どのような問題があるのか（あったのか）などについて記載しています。 ★また、活動実績や成果実績などから、今後の具体的な取り組みの内容、成果とコストに対する今後の考え方や、この事業をどのようにしていきたいかなどを記載しています。						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	★業務内容や経費等が適正かどうか確認するため、他の自治体との比較データなどを記載しています。						
特記事項	★特に明記すべきことを記載しています。						